

ほっとする「しあわせ」をお届けして90年 パーソナルユースのリネンサプライ 新しいライフスタイルを提案

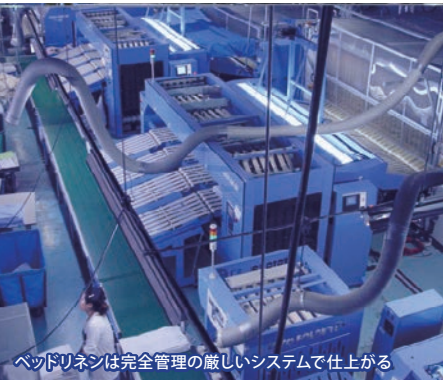
玉川グループ
玉川繊維工業所

玉川グループの展開する玉川繊維工業所(世田谷区松原、関口雅章社長、0120・17・17・18)は、リネンサプライとベッドクローズを基幹事業として、創業から91年目を迎えた。「リネンサプライ」というビジネスが事業として成立するようになったのは東京オリンピックの頃で、その歴史は比較的新しく、まだなじみのない人も多い。

「リネンサプライ」の「リネン」とは繊維製品、「サプライ」は提供するという意味である。つまり、ホテルやレストランで使用するシーツ、ベッドカバー、タオル、テーブルクロス、ナプキンなどの布製品を常に洗いたての美しく清潔な状態で、継続的にレンタルするビジネスのことだ。ホテルのベッドに子供のようにダイブしたり、ディナーテーブルにセットされた真っ白なナプキンを広げたり、バスルームでふかふかのタオルを使ったり、夢のような非日常の時間を満喫できるのは、リネンサプライ

の役割が大きい。

そして、今度は「洗いたてのシーツやベッドカバーなどのリネンを、団塊世代の奥様方にお届けしたい」。関口社長が長い間温めていた新しい個人向けビジネスプランがいよいよ走り出した。「日本経済を牽引してきた団塊世代のシニアを陰から支え続けた奥様に、そろそろ楽をさせてあげたい。シーツを買ったり、洗濯したり、干したり、ベッドメイキングしたり毎日の重労働から解放し、ご家庭にホテルライフのような幸せの時間を届けたい」と関口社長は語る。



ベッドリネンは完全管理の厳しいシステムで仕上がる



ベッドリネンを月2度お届けするサービス

ベッドリネンを月2度お届けするプラン／ベッドメイキングのサービスを加えたプラン／布団、ベッドパッド、毛布のクリーニンングプランなどきめ細かく対応し、高齢化社会の介護ニーズ増に向けて、個人でもベッドリネンをレンタルする新しいライフスタイルを提案する「ドリームコンシェルジュ倶楽部」の詳細は<http://doriconclub.jp> ←